

1-1 食塩水の重さと濃さ

食塩水の重さは{ }の重さと{ }の重さを足したものである。
食塩水の体積は食塩の体積と水の体積を足したものより{ }い。
これ以上溶質が溶けきれない濃度の水溶液を{ }水溶液という。

1-2 酸素と二酸化炭素の発生法

酸素の性質は色が{ }。においが{ }。味がない。空気より{ }い。
水に溶け{ }。

空気中の約{ }%が酸素である。

物が燃えるのを助ける。酸素自身は燃えないが、酸素があると物質は空気中よりも激しく燃える。

動物が生きていくために必要である。

二酸化炭素の性質は色が無い。においが無い。味がない。

空気より重い。酸素より{ }い。

水に溶け{ }い。水に溶かしたものを{ }水という。

物が燃えるのを助けない。

空気中の約 0.03%が二酸化炭素である。

1-3 酸性、中性、アルカリ性

いろいろな水溶液はリトマス紙を使ってなかま分けすることができる。

酸性では{ }色リトマス紙が{ }色に変わる。

アルカリ性では{ }色リトマス紙が{ }色に変わる。

酸性では BTB 溶液の緑色が{ }色に変わる。

アルカリ性では BTB 溶液の緑色が{ }色に変わる。

フェノールフタレイン液は無色、透明な液体で、{ }性の場合だけ赤色になる。

酸性の水溶液とアルカリ性の水溶液をちょうどいい量で混ぜ合わせると{ }性の水溶液になる。たとえば塩酸と水酸化ナトリウム水溶液をちょうどいい量で混ぜ合わせると{ }水になる。